

㉔ 公園施設の長寿命化

公園内施設の長寿命化によるトータルコストの削減を図るため、耐用年数や修繕履歴のほか、利用頻度による劣化・損傷の程度を想定し、長期的視点で部品交換や補修・修繕計画を立てます。

また、施設・工作物の修繕・改修の際には、目的や機能を損なわない範囲で維持管理費の低減につながる製品・資材への転換を図り、必要に応じて札幌市に対しても提言・協議します。

㉕ バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進

接客時やアンケート等を通じて、障がい者、乳幼児連れの利用者、高齢者など様々な公園利用者から公園や各施設に対する声を聴き、誰もが利用しやすい公園となるようユニバーサルデザインの視点を取り入れた管理に努めます。

また、園路の不陸や段差解消に努めるとともに、ベンチ・水飲み台・四阿などの施設の利用しやすさにも配慮します。

大規模な施設改修や新設が必要な場合は、専門家などの意見も踏まえて札幌市に提案・協議し、バリアフリー・ユニバーサルデザインの導入・推進に努めます。

㉖ インクルーシブ遊具の利用啓発

札幌市初の大型インクルーシブ遊具を備える公園（令和5年度利用開始予定）として、正しい遊具の使用方法を広める活動を行い、一般の子どもと障がいを持った子どもがより交流できる機会を増やします。インクルーシブ遊具の利用に関しては事前に本州の既設公園の利用状況を確認し、問題点や対応について検討を行います。

㉗ 類似事例のフィードバック

国、道、札幌市からの通知や、インターネット等により幅広く類似の施設や作業等での事件事例を収集し、故障や事故等への対応に活用します。また、当協会が指定管理者として管理運営する他公園の類似施設の破損・修繕情報を共有し、日々の点検・修繕計画にフィードバックします。

㉘ 清潔と美観の維持

清掃作業の頻度は、季節・曜日・天候・イベントの開催等により、ごみや落ち葉の発生量、汚れ度合いが大きく変動します。作業体制・重点箇所・時間帯・回数等の年間清掃計画を立てた上で、回数や内容を柔軟に変更することにより効率的かつ効果的に行うなど、園内を清潔に保ち美観の維持向上に努めます。

また、園地の清掃は、草花・樹木を損傷させることのないよう注意を払いながら、ごみ・落葉・枝・石を分別して収集・処理し、建物や工作物の周りを除草するなど、良好な状態を維持します。

㊦ 衛生・美観管理によるおもてなし

両公園は、たくさんの市民が訪れる場所です。

多くの利用者を迎えるにあたって、公衆トイレを清潔に保つことが公園の印象を良くし、気持ち良く公園を利用していただけるポイントであり、日常清掃により清潔さを保つだけでなく、巡回で汚れを見つけた場合は早急に対応するなどのこまめな取組により、公衆トイレを清潔に保ちます。

主な施設における年間作業の具体的な実施要領（農試公園）

① 屋内広場 アリーナ

市内唯一の土のグラウンドの全天候型の屋内運動施設であり、テニス、サッカー、野球、ラクロス、パタンク、パークゴルフ、運動会等の様々な利用種目・内容により使用されるため、日々の整備作業では常に土壌のコンディションに注意を払います。



〔具体的管理内容〕

- a **日常管理**：作業機器を使用して、土壌表面の不陸整正と散水を中心に行います。
- b **月次整備**：月1回、グラウンド整備日を設け、短時間では難しい耕耘作業を行います。これまで当協会が屋内広場の管理で培ったノウハウとデータを基に、土壌管理経験の豊富なスタッフが中心となって土壌コンディションの改善を図ります。
- c **年次整備**：年1回、アリーナ全面の整備期間を設け、全面を耕耘（写真左）し、表面土の硬度調整と不陸整正（写真右）を行います。また、一般開放中には実施が難しい館内設備・備品の清掃等も併せて行い、利用者が快適に使用できる環境を整えます。



- d **データ管理**：土壌硬度を専用器具で計測し、データ化することで、常に適度な硬度状態を維持できるよう整備し、ベストコンディションを提供します。
- e **臨時点検**：整備日以外でも突発的に整備が必要と判断される場合は、その都度早急に対処し、快適な利用を確保します。
- f 屋内広場アリーナは、平成5年12月の供用開始以来約30年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和5年度に施設の改修工事が予定されています。農試公園を30年に渡り管理してきたノウハウを活かし、札幌市、施工業者と綿密な打ち合わせを行い、より良い施設として改修していただけるよう努めます。

② サンプルーム

アリーナの隣は、四季を通じて優しい自然光が降り注ぐ面積 390 m²の憩いとくつろぎの空間（サンプルーム）で、スポーツや散策後の休憩などに利用されています。

温かい環境が維持されるサンプルームは、高く伸びた観葉植物が緑豊かな空間をつくっており、冬季でも緑の中で憩うことができる空間設計と植物管理が認められ、平成 10 年に第 9 回緑のデザイン賞

（現：緑の環境デザイン賞）緑化大賞を受賞しています。

現在、サンプルームで栽培している大小 350 鉢を超える観葉植物は、公園スタッフと公園ボランティア「カボック」が中心となって管理しています。



〔具体的管理内容〕

- a **日常管理・清掃**：日常清掃のほか、スタッフの巡視時にも適宜清掃を行います。特に、明るい陽光の確保のため、ガラス面の汚れに留意します。
- b **植物管理**：観葉植物は、ボランティアとともに、灌水、施肥、整枝・剪定、植え替え（鉢替え）、挿し木、取り木、株分け等、植物の状態と季節にあった作業を行い、植物を良好な状態に保ちます。
- c **利用快適性の保持**：サンプルームは冬季でも休憩所としての役割を果たせるよう、適正な温度管理に努めます。

③ 光庭

アリーナとサンプルームを結ぶ左右の通路に挟まれた中庭は、明るい自然光が降り注ぎます。ここに植物を設置し、利用者が楽しめるように修景します。

〔具体的管理内容〕

- a **日常清掃**：定期的に清掃を行い、美観を維持・確保します。
- b **植物管理**：グリーンシーズン中、適宜、設置・栽培管理します。

④ 多目的広場

夏季は、屋外の広いフリースペースを利用して、野球・サッカー・ラグビー等の練習や大会のほか、大規模イベント等も開催されます。また冬季は、雪合戦や雪上サッカーの会場として利用されます。そのため、混雑時にはスタッフを増員して対応するなど、安全・公平に使用できるよう利用調整します。

〔具体的管理内容〕

- a **日常管理**：トラクターとグラウンドマットを使用し、土壌表面の不陸整正を行います。また、通常の方法で対応が困難な場合は、土を補充して不陸整正を行います。なお、表面の石や枯枝等はすべて除去するなど、安全で快適な利用環境を提供します。
- b **乾燥期の管理**：夏場の乾燥期には、強風時に砂塵が巻き上がるので、定期的に散水を行い抑制します。

〔夏季及び冬季の管理内容〕

夏季：土・日・祝日、ゴールデンウィーク、夏休み期間等の繁忙日は、常設駐車場の駐車台数のみでは対応しきれないため、当協会の提案によって、4月から10月までの期間、多目的広場の一部を臨時駐車場として開放しています。こうした対応は、周辺地域や警察等から高い評価と支持をいただいております。今後も適切な駐車スペースを設定するとともに、利用者の安全に十分注意して、車両の誘導・案内を行います。



冬季：適宜、除雪・圧雪等を実施し、冬の公園利用促進のための環境整備を行います。

⑤ ゲートボールコート

3面のコートがあり、地域のゲートボール愛好家やペタンク愛好家が練習に利用しているほか、ゲートボールやペタンクの全道大会が開催されるなど、地域を超えて多くの方が利用しています。また、令和3年度には近年人気のペタンク用コート1面を指定管理者である当協会が整備し、好評を博しております。

〔具体的管理内容〕

- a **日常管理**：トラクターとグラウンドマットを使用し、表面の不陸整正を行います。
- b **日常清掃**：ごみや石等は、スタッフとボランティアがすべて除去し、定期的にブラシ掛けと除草を行います。また、秋には落ち葉清掃を実施するなど、安全で快適な利用環境を提供します。
- c **乾燥期の管理**：乾燥期は強風時に砂塵が巻き上がるので定期的に散水します。



⑥ ちゃぶちゃぶ広場

親子連れや子どもにも人気の水遊び場です。幼児でも安全な水位を保つとともに、異物・浮遊物の除去と衛生に十分注意して管理します。

〔具体的管理内容〕

- a **水位設定**：安全な施設利用のため、幼児が座った状態で利用することを考慮し、最大水位を20cm程度とします。
- b **日常管理・清掃**：利用者の安全確保のために、毎朝、ビンやガラスの破片等の異物除去と、ごみや落葉等の浮遊物の清掃をします。
- c **水質管理**：利用者が安心して遊べるよう、毎日、水質を測定して点検簿に記載し、適正な水質となるよう塩素消毒を行います。
- d **定期清掃**：安全・衛生及び美観を維持するため、週1回、水をすべて抜きプール内の



清掃と設備点検を行います。利用最盛期には回数を増やし、利用後の夕方から夜にかけて作業を行います。突発的な水質汚濁が発生したときは直ちに対応します。

作業項目	回数	備考
噴水冬囲い設置・撤去	2回/年	4月、11月
噴水巡視点検・清掃	1回/日	異物混入時
塩素濃度測定	2～3回/日	塩素補充
定期清掃	18回程度/年	水抜き、ごみ処理、ブラシ清掃
水質検査	適宜	開放前、営業中

㊦ 遊戯広場

砂場と遊具が一体となった施設で、春から晩秋まで、多くの親子連れや子どもに利用されています。こうしたことから、損壊、異物・危険物の混入等がないよう、安全衛生に十分注意して管理します。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検**：毎朝の巡回時に、施設の破損箇所、ごみやガラス片などの異物、動物の排泄物の混入等について十分注意して確認し、発見時は直ちに取り除くなど、安全衛生を徹底します。
- b **砂場の安全・衛生管理**：砂の掘り起こしと補充を適宜行い、子どもが楽しく遊ぶことができる安全で快適な環境を維持します。

〔遊具点検〕

両公園において、共通の管理・点検を行います。

- a **日常点検A**：利用者の安全確保のため、毎日の巡視時に目視と触診等により確認し、不良箇所や故障等の有無を早期発見します。
- b **日常点検B**：週1回、目視・触診・打診等に加えて、遊具点検簿に基づき、より細かな点検を行います。点検作業は「一般社団法人日本公園施設業協会」による「遊具の日常点検講習」を受講済みのスタッフが行います。
- c **定期点検**：雪解け後の4月と夏休み期間前の7月の年2回、専門技術者が目視・触診・打診・聴診等に加えて、複数の計測器を使って安全性を点検・検査します。なお、点検作業は、「一般社団法人日本公園施設業協会」が認定する「公園施設製品安全管理士」又は「公園施設製品整備技士」と同等以上の資格を有する者が行います。
- d **遊具の設置・養生**：積雪前の11月にブランコの座板を撤去して倉庫に収納し、融雪後の4月に再度設置します。設置は専門業者が行い、併せて定期点検を実施します。



遊具点検要領（農試公園 北：健康遊具広場 南：遊戯広場・交通コーナー）
（発寒西陵公園 中央：自由広場）

作業項目	回数	備考
日常点検A	1回/日	目視・触診による点検
日常点検B	1回/週	目視・触診・打診・聴診等による点検
定期点検	2回/年	4月，7月 専門技術者による点検
遊具設置・撤去	2回/年	4月，11月 設置は定期点検に合わせて実施

㊦ 交通コーナー

信号機を設置した自転車専用道として開放しています。自転車走行の総合的な交通ルールを楽しみながら学ぶことができ、親子連れや近隣の子も達に人気の施設です。こうしたことから、日常巡視と清掃を行い児童が安全で快適に利用できるよう努めます。



〔具体的管理内容〕

a **日常点検・清掃（コース）**：交通標識の見やすさを確認します。また、アスファルト面の状態と異物の有無には特に注意し、危険箇所があれば注意表示又は通行止め柵を設置したうえで、早急に修繕して開放します。

b **日常点検・修繕（自転車）**：貸し自転車

は、貸出前と返却後に安全点検を行い、故障のない自転車のみを貸し出します。また、定期的に点検整備と清掃を行い、故障箇所を発見した際は、速やかに修理を行います。特にブレーキは消耗が激しいため、定期的に交換することで事故防止につなげます。さらに、自転車整備カルテを作成し、安全と長寿命化の両立に努めます。

c **利用マナー啓発**：危険走行がないように、適宜アナウンス放送等で注意喚起するなど、利用者全員が事故なく安心して利用できるように努めます。また、子どもや保護者を対象に、管轄の西警察署や八軒連合町内会と協働で、自転車の安全走行普及を目的とした講習会「自転車安全教室」を定期的を開催します。

d **更新計画**：貸し自転車は、常に整備・修繕を行ってきましたが、全体的に経年劣化が進み、摩耗・腐食が進んできています。このため、札幌市と協議し、自転車を適宜更新することを計画します。また、誰でも交通コーナーを利用できるように、更新車両にはタンデム型や車いす一体型などインクルーシブ対応自転車の導入も検討いたします。

自転車整備カルテ			№〇
子ども用 18インチ	自転車貸出№	GB	車体番号
日付	不具合状況	整備内容	
／			
／			
／			
／			
／			



タンデム型自転車

㊦ トンカチ広場（令和 5 年度は建て替えのため休場）

気軽に木工作を楽しめる施設として、特に親子連れや小学生に人気の施設です。使用する木材や金槌、鋸、釘等の工具を無償で貸し出し、開放期間中はスペースの整理整頓を心がけ、用具と併せて安全に利用できるよう管理します。令和 5 年度は公園改修工事のため令和 4 年の冬に現施設が解体されますが、工事期間中は工事関係者と連携し進捗情報を発信するほか、新しい管理方法についてもより安全に利用しやすい施設となるよう検討いたします。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃**：広場内に落下している釘は、マグネットローラーを使用して回収し、安全な環境を維持します。また、工具等の収納場所であるトンカチ棟は、木材の加工場所でもあり、切り屑等が大量に発生します。1 日の利用終了後に必ず点検・清掃を行うほか、整理整頓を心がけ、安全に利用できるよう管理します。また、火気の使用禁止を徹底します。
- b **利用者サービス**：多様な作品が作れるように、形状・厚さ・大きさなど様々な規格の木材を用意するとともに、安全な利用方法を啓発し工作に関する利用者へのアドバイス・サポートを適宜実施します。また、万一に備え利用者の怪我等に対応するため、救急用品を常備します。
- c **資源の再利用**：トンカチ広場で使用する木材は、近隣事業者の家具や建材加工で発生した端材を利用しているほか、木屑類は、倉庫保管し、球根等の保存材として再利用します。



㊧ 常設駐車場（駐車可能台数：194 台）

土・日・祝日、ゴールデンウィーク、夏休み等の繁忙期には、臨時駐車場を開設して案内看板を設置するとともに、誘導員を配置して、渋滞や違法駐車が発生しないよう対処します。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃**：日常清掃のほか、排水溝清掃、ポプラの綿毛清掃、落葉清掃などを重点的に行います。また、駐車ライン塗装及び縁石補修等を行い、施設の機能維持に努めます。
- b **冬期間の管理**：除雪・排雪をこまめに行い、安全かつ快適に利用できる環境を整備します。
- c **混雑緩和**：園内での大規模イベント開催時は、公共交通機関での来園のお願い、多目的広場の臨時駐車場利用など混雑の緩和に努めます。
- d **利用時間の設定**：駐車場開放時間（夏期は 4 時 45 分～21 時 15 分、冬期は 8 時 30 分～21 時 15 分）を大型看板で表示し、利用者に周知します。また、夜間閉鎖することにより、騒音等による迷惑行為や公園施設へのいたずら行為を抑制します。



㉑ サービスヤード（機械格納庫含む）

〔具体的管理内容〕

- a **施錠管理**：一般利用者が誤って進入しないよう、作業終了後は門扉の閉鎖と施錠を確実に行います。
- b **在庫管理**：ヤード内に保管する資材や機材類は整理整頓し、在庫管理します。

㉒ 管理事務所

ツインキャップ内に配置し公園の維持管理・運営の拠点として、市民や利用者への総合案内や情報発信地であり、これらの機能が十分発揮できるように適切に管理します。

令和 5 年度はツインキャップの改修工事に伴い仮設事務所での運営が予定されているため、利用者の利便が損なわれないよう関係者と協議を進め、適切な周知と案内を行います。

㉓ 屋外有料施設（野球場：2面）

令和 2 年、令和 3 年に再整備された屋外野球場は、少年野球から社会人野球まで幅広く利用されています。特に土・日・祝日は大会等が開催され、選手だけでなく応援する家族や関係者等で賑わっています。2 面のうち 1 面にはナイター照明が設置され、夕方から夜にかけての利用も可能となっており、年間を通じて良好なグラウンドコンディションを維持し、安全性と快適性の確保に努めます。

〔具体的管理内容〕

- a **春季開放前の作業**：グラウンド表面の不陸整正と転圧を行い、マット掛けで仕上げます。
- b **グラウンド整備**：定期的に内野土壌グラウンドと外野芝生の整備を行い、コンディションが悪い場合は、適宜整備作業と散水により改善します。

水はけの悪い箇所は、当協会独自の排水処理方法で土壌乾燥度を高めており、利用者から大変好評を得ています。

グラウンドに補充する土については、透水性が高く固化しにくい材料を使います。

- c **開放終了時の作業**：屋内広場の土壌管理技術を応用して耕耘・転圧・不陸整正等を行い次年度の開放に備えます。



㉔ 屋外有料施設（軟式テニスコート：2面）

軟式テニスコートは、ナイター照明付きのグリーンサンドコートで、クレーコートよりもコート面の安定感が高いため、テニスクラブ、サークル、大学生・高校生の部活動等、本格的なテニス利用者も多数利用しています。こうしたことから、引き続き質の高いコンディションの維持に努めます。



〔具体的管理内容〕

- a **春季開放前の作業**：コート表面の落ち葉、ごみ等をていねいに清掃し、不陸整正、マット掛け、転圧を行った後、コートラインを設置して仕上げます。
- b **日常点検**：ラインテープの破損や止め釘の弛み等を毎日確認し、利用者の安全を確保します。また、グリーンサンドコートの特性を生かし、定期的な散水と転圧を行うほか、利用に伴って徐々に一部が掘り削られるため、定期的にレベル測定と不陸整正等を行います。
- c **用具管理**：テニスボール、ネット、ラインブラシ等の用具類は、点検簿を使って定期的に安全点検を行います。
- d **開放終了時の作業**：落ち葉、ごみ等の清掃を行い、コートラインを撤去した後、屋内広場の土壌管理技術を応用して耕耘・転圧・不陸整正等を行い次年度の開放に備えます。

㊦ 屋外有料施設（硬式テニスコート：2面 オムニコート）

ナイター照明付きの全天候型舗装材のコートで、主婦、学生、サークル、家族や友人同士など、幅広い層に利用されています。こうしたことから、引き続き質の高いコートコンディションの維持に努めます。

〔具体的管理内容〕

- a **春季開放前の作業**：コート面の落ち葉清掃等を行います。また、コートブラシを使用してコート全面の砂を均し、不足箇所には砂を補充します。
- b **日常点検**：コート表面状況を確認し、ごみや落ち葉等の清掃を行います。また、利用に伴って特定箇所の砂が徐々に移動するため、定期的なブラシ掛けと砂の補充を行います。
- c **用具管理**：テニスボール、ネット、コートブラシ、審判台等の用具類は、点検簿を使用し、定期的に安全点検を行います。



① 少年野球場

少年野球チームの練習や大会等の利用が多いことから、引き続き安全性と快適性の確保に努めます。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃**：日常点検と清掃を行うほか、グラウンドの状態を目視で確認します。
- b **グラウンド整備**：トラクターや作業機械等を使用して、グラウンドの耕耘・不陸整正・転圧・表面整地を行い、良好なコンディションを維持するよう努めます。
- c **乾燥期の管理**：散水を行って土壌の固化を防ぎ、良好なコンディションを維持します。

② 多目的広場（ゲートボール場）

公園の北側奥に位置するゲートボール場は、近年、ゲートボール利用の減少が顕著であるので、多目的広場として再整備するなど、利用の在り方等について、札幌市と協議を進めたいと考えます。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃・コート整備**：日常点検と清掃を行うほか、土壌表面の状態を確認し、整備が必要な場合は、トラクターや作業機械等を使用して不陸整正・転圧・表面整地を行います。

③ 自由広場・多目的広場

ブランコや大型のコンビネーション遊具が設置されており、親子連れや幼稚園児等に広く利用されています。定期的な巡回点検により破損の早期発見に努めるなど、安全衛生に十分注意して管理します。

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃**：施設の破損箇所、砂場内にごみやガラス片等の異物や動物の排泄物の混入等がないかしっかり確認して対応します。
- b **砂場の安全・衛生管理**：春・夏に砂の天地返しと補充を行い、清潔で安全に利用できる状態を維持します。

※遊具の維持管理について

発寒西陵公園の遊具は、「農試公園の⑥ 遊戯広場〔遊具点検〕」(P.65) に準じて管理します。

④ 屋外有料施設（硬式テニスコート：2面）

防風林に囲まれた全天候型舗装のコートで、家族連れや友人同士での利用が多く、こまめな清掃管理により良好なコンディションの維持に努めます。



〔具体的管理内容〕

- a **春季開放前の作業**：洗浄機などを使ってコート全面の洗浄清掃を行います。
- b **日常点検**：コート面を確認し、ごみや落ち葉等の清掃を行います。
- c **用具管理**：テニスボール、ネット、コートドライヤー等の用具類は、点検簿を使って定期的に安全点検を行います。

⑤ 駐車場

〔具体的管理内容〕

- a **防犯対策**：夜間から明け方にかけては防犯上閉鎖し、注意看板を設置するなど、マナー啓発を行うとともに、巡視と清掃等により事故や事件の未然防止に努めます。また、冬期間は駐車場を閉鎖し、夜間の騒音による迷惑行為や公園施設へのいたずら行為を防ぎます。
- b **混雑緩和・安全確保**：土・日・祝日は、野球場利用者等で混雑するため、路上駐車禁止等の声かけ・看板の設置などの注意喚起を行います。また、周辺町内会、近隣の小中学校、管轄の西警察署と連携を図ることで、事故の未然防止と利用者及び地域の安全確保に努めます。

主な施設における年間作業の具体的な実施要領（両公園共通）

① 休憩・照明等施設

四阿、ベンチ、パーゴラ、園路灯、公衆トイレ、水飲み台、看板等は、個別に作成する管理計画に基づいて定期点検や清掃を行い適切に維持管理します。施設の劣化、損傷、損壊が発見された場合は、安全確保の措置を取るなど早急に対処します。

〔具体的管理内容〕

● 四阿・パーゴラ

- a **日常巡視**：点検簿を使用して設備の劣化等を確認し、不具合があれば補修や部品を交換します。
- b **日常点検**：毎日目視点検を行うほか、週 1 回、打診点検を行います。不具合を発見した場合は、直ちに使用禁止等の措置を講じます。また、修繕を行う場合は、履歴を残します。
- c **冬期作業**：定期的に雪下ろしを行い、施設の損壊と落雪による被害を防止します。

作業項目	回数	備考
月次点検	1回/月	目視、打診等
定期点検	2回/年	4月、7月 職員による点検
雪下ろし	適宜	1月～3月、四阿屋根

● ベンチ

- a **日常点検**：積雪期以外は、スタッフが毎日の巡視時に1日1回の目視点検を行うほか、月1回程度の打診点検を行い、異常箇所や破損等の発見に努めます。なお、いたずらされることの多い座板等が破損している場合は早急に交換します。

- b **点検・修繕記録の作成**：園内のすべてのベンチに付票を割り当て、個別のカルテを作成し、修繕等の参考となるよう点検結果・修繕の履歴を残します。

● 園路灯

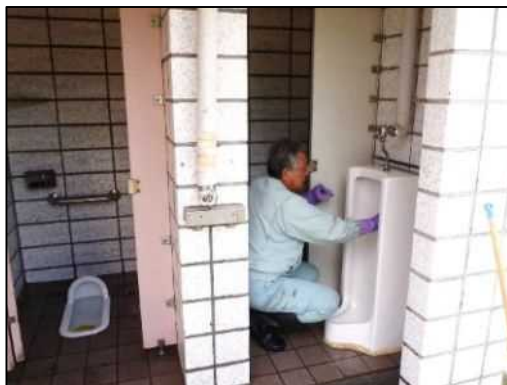
- a **定期点検**：園内の照明灯は、定期巡視時に点検簿を使用して照明柱の劣化状況と点灯確認を行い、必要に応じて電球の交換等を行います。
- b **点灯・消灯時間の設定**：日の出・日の入り時刻に合わせて点灯時間を設定し、消費電力の低減に努めます。
- c **防犯対策**：樹木の枝による暗がりが生じないように、適宜剪定等を行います。

● 公衆トイレ

当公園には公衆トイレが2箇所ありますが、週 3 回の清掃を行い美観と衛生の維持に努めます。（※ 1 箇所は冬期間閉鎖）

また、発寒西陵公園に 3 箇所ある公衆トイレについても、週 3 回の清掃を行い美観と衛生の維持に努めます。（※ 全箇所冬期間閉鎖）

- a **定期点検・清掃**：開放期間中は、定期清掃のほか、日常巡視時に点検簿を使用した施設の確認を行います。汚れがひどい場合は、専用器具や洗浄剤を使うなどして、利用者の快適な利用環境を確保します。
- b **屋上清掃**：4月と11月の年2回、屋上ダクトの落ち葉等を取り除きます。
- c **修繕対応**：施設の破損や排水管詰まり等の不具合を発見したときは、直ちに使用禁止等の措置をとるとともに、速やかに修繕し記録を残します。なお、特別な措置が必要な場合は、専門事業者により復旧を図ります。
- d **臨時清掃**：トイレの利用が多くなる夏期やイベント開催時は、巡視や清掃の回数を増やします。
- e **冬期閉鎖時の作業**：水抜きと不凍液の注入を行い、凍結による破損を防止します。春は融雪状況等を勘案して開放します。なお、当公園の駐車場に近い公衆トイレ1箇所は、市民の利便確保のため、冬期も開放し園路除雪を行います。



作業項目	回数	備考
清掃	週3回（冬期は2回/週）	日常清掃
施設点検	毎日（冬期は2回/週）	便器・手洗い場・壁・照明・屋上
屋上清掃	4月、11月	屋上ダクトの落ち葉等除去



公衆トイレ（冬期間閉鎖）



公衆トイレ（冬期間開放）

● 水飲み台

- a **日常点検・清掃**：日々の巡視時に設備の破損や劣化等を確認し、不具合があれば補修を行います。蛇口はいたずらが多く、破損すると被害が大きくなることから特に注意します。また、週1回、蛇口等の拭き掃除を行います。
- b **定期点検**：積雪期以外は、スタッフが月1回触診等の点検を行い、破損や劣化等を確認します。
- c **春季開放時・冬期閉鎖時の作業**：11月に水抜き作業を行いムシロで養生し、冬季の凍結による破損を防ぎます。そして、雪解け後の4月に開放します。
- d **適切な利用の徹底**：洗車のための利用やペットのシャンプーなどの行為を発見したときは、その場で注意し、適正利用の確保に努めます。



作業項目	回数	備考
開閉作業	2回/年	11月 水抜き・冬囲い、4月開放
日常点検・清掃	1回/日 1回/週	開放期間中は毎日目視点検 週に1回蛇口等の拭き清掃
月次点検	1回/月	4月～11月、目視・触診等

② 業務車両・作業機械等

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検（業務車両）**：始業前に点検（異音・オイル漏れ・空気圧・燃料・ブレーキ等）を行い、安全確認します。運転日報に用途、給油履歴等を記載し、適正な使用を確認します。
- b **法定検査（共通）**：業務車両と土壌整備等で使用している重機（タイヤショベル、転圧ローラー）は、年1回の法定検査により修理を行い、事故の防止、安全・適正な整備と使用を徹底します。

- c **日常点検（作業機械等）**：始業前に点検（異音・オイル漏れ・空気圧・燃料・安全装置等）を行い、安全確認後に使用します。また、作業機械カルテに沿って週1回点検を行い、結果を記録します。
- d **定期点検（作業機械等）**：年1回、消耗部品（エレメント・フィルター・各種オイル等）の交換も含めた定期点検を行うことで、作業機械を適正な状態に保ち長寿命化を図ります。
- e **老朽化対応（作業機械等）**：作業機械の老朽化に対応する長期的な保守及び更新計画を札幌市と協議します。

現場名		農試公園		主任	担当			
平成24年 月分 定期点検記録簿								
機種名称	乗用ロータリーモワ	製造・産地番号	12PS					
モデル名	クボタ	機						
型式	L175D	管理番号(公道への登録)						
区分	点検実施内容	点検実施月日						
		月	日	月	日	月	日	
エンジン	エンジンオイルの量・汚れ・漏れの状態							
	冷却水の量・汚れ・漏れの状態							
	ファンベルトの張り、潤滑							
	エアフィルター・エレメントの汚れ・詰まり・破損							
	燃料系統の汚れ・空室の確認・動作状態							
運転装置	パワーステアリングの潤滑							
	エンジン・駆動・潤滑・駆動の状態							
	排気ガス色の状態							
	ハンドルの遊び、結合、操作状態							
	ブレーキペダルの遊び、結合状態							
ブレーキ	ブレーキパッドの厚み、破損の状態							
	走行HSTペダルの操作性							
	リフトコントロールレバーの操作性							
	各計器類の点検、動作状態							
	灯類の点検状態							
フレーム	車体・エンジン・フレーム等の亀裂・変形							
	色褪せ・錆び・腐食、塗料の剥離							
	点検後の油量・汚れ・漏れの状態							
	後継圧シリンダー・HST・オイル漏れ							
	プロペラシャフト・PTO等の動作状態							
足回り	タイヤの空気圧、磨耗、偏磨							
	前後アックスの動作・油漏れの状態							
	足回りの錆び、磨耗、変形の有無							
	ペダルの踏み心地							
	各ローターの動作状態							
モーター	各部の取り付けボルト・ナットの締め、緩急							
	統合レバー・各種の動作状態							
	点検・潤滑・駆動・潤滑・駆動の状態							
	点検項目のワーニング表示	hr	hr	hr	hr	hr	hr	
	点検実施者							
※点検は、重要点検箇所を必ず行います。								
点検結果	異常なし	交換	補修	修理	分解	組立(水)	その他	該当なし
点検結果	○	×	△	△	△	△	△	△
備品・物								
管理								

③ 施設等の修繕

〔具体的管理内容〕

- a すべての施設・設備、機器等の機能を適正に維持し、破損や故障等のトラブルにより、利用に支障を来さないようにします。
- b 施設・設備、機器類に破損や故障等が発生した場合は、速やかに状況を確認し復旧に努めるとともに、周囲の安全確保・各関係機関への連絡等の初期対応を行います。そして、施設の状態を利用者へ周知するとともに、原因を調べて修繕し、安全を確認したうえで供用を再開します。対応結果については、札幌市に報告します。
- c 施設と利用者の安全性を確保し、施設等の劣化・損傷を最小限に抑えるため、中・長期修繕計画を策定し、札幌市に提案・協議します。
- d 修繕金額が高額の場合は、修繕内容、方法、優先度等を整理し、複数の見積を徴収したうえで札幌市に報告します。

中長期修繕計画（令和5年度から9年度）

目標年度	目標
令和5年度	ツインキャップ改修、自転車貸出所・トンカチ広場建て替え
令和6年度	交通コーナー改修、札幌市に提案・協議、消耗品交換
令和7年度	専門業者による精密点検等実施、消耗品交換
令和8年度	専門業者による精密点検等実施、消耗品交換
令和9年度	精密点検等を継続、精密点検の結果伴う修繕計画の順次見直し

④ 備品管理

〔具体的管理内容〕

- a 特記仕様書に記載されている「札幌市が貸与する車両及び物品」は、毎年確認してその状態を点検簿に記載して適正に管理します。
- b 市民等が利用する備品は、安全点検と清掃等を行い、破損や劣化等、不具合が生じた場合は修繕又は更新します。

⑤ 集水桝・側溝等

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検・清掃**：巡視時に定期的に集水桝・U字側溝の点検を行い、通水障害による周辺の冠水を防止します。
- b **臨時点検・清掃**：台風等による大雨が予想される場合は、気象情報等に注意し、早めに側溝や桝等を重点的に点検し、障害物を事前に取り除きます。雨量が増す場合は、巡視回数を増やし、溢水のおそれがある場合は早急に必要な対応をとります。

作業項目	回数	備考
集水桝・街渠桝清掃	3回/年	落ち葉、泥除去
U型側溝清掃泥上げ	5回/年	落ち葉、泥除去
臨時点検・清掃	適宜	落葉期、大雨・融雪時等

⑥ 野球場照明灯・投光器

〔具体的管理内容〕

- a **日常点検**：夜間利用がある際には点灯状況の目視確認を行います。月2回、定期的に点灯操作を行い、消灯の有無、安定器の状態、灯柱・灯具の外観を点検し、記録します。
- b **定期点検**：電気保安事業者が、定期的に漏電、部品劣化等を点検します。指摘事項がある場合は早急に改善し、事故防止を図ります。

照明灯日常点検表					
個別付番番号	点検年月日	年 月 日			
	点検者氏名				
点検項目	点検内容	点検方法	点検結果	備考	
灯柱の外観	外見上の傷 錆 摩耗 腐食 窪み 変形 ヒビ 割れ 傾き				
点検扉内部	傷 錆 腐食 器具変形・ずれ 異音				
灯具外見	ヒビ割れ 落下 接合不良 不自然な点滅 不点灯				
照明灯具	ヒビ割れ 落下 接合不良 不自然な点滅 不点灯				
特記事項					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
※点検結果 所定欄に記載する。					
1少し損傷等があるが、性能に問題ない					
2少し損傷等があり、軽易な補修・部品を要する					
3中程度の損傷等があり、将来使用出来なくなる恐れがある					
4大きな損傷等があり、1年以内に使用出来なくなる恐れがある					
5重大な損傷等があり、使用出来ない(使用すると問題発生する)					

灯具姿図
異常箇所を图示

清掃・衛生管理

〔基本的な考え〕

① 美観維持と環境への負荷の低減

- a 毎日、巡回清掃を実施し、利用者や地域との協働により、ごみのない公園環境をつくり、利用者にごみの持ち帰りをお願いするなど、マナー啓発に努めます。

- b 季節、曜日、天候等で変動するごみや落ち葉などについては、長年の管理経験から発生量を予測した清掃計画を立て、より効率的な作業を行うことで衛生と美観の維持に努めます。
- c 園内で発生した植物系廃棄物は、堆肥やチップ材として再資源化を図り、花壇の土壌改善や園路舗装等に利用し、環境への負荷低減と良好な土壌環境の維持を図ります。また、危険木の伐採などで生じた木材や植物系廃棄物の一部については、市民や地域への配布を検討します。

② 協働と不法行為の抑制

衛生的な施設と美観の維持は、公園管理の基本的要素であり、利用者や地域住民・各種団体の協力を得て取り組んでいきます。このことにより、地域の方の公園への愛着、地域コミュニティの活性化・交流促進、不法行為の抑制等につなげます。

〔具体的管理内容〕

- a 不法投棄されたごみは速やかに回収し、衛生と美観の確保に努めます。
- b 利用者の集中する土・日・祝日やイベント開催時は、巡視と清掃回数を増やし、利用者の安全と快適性を確保します。
- c 発寒西陵公園の周辺では、「アダプト・プログラム」として地域住民や事業者が定期的に清掃活動を行っているほか、小中学校生徒による公園の清掃活動も行われています。今後は、これらの方々や団体等との協働・協力を一層強めて公園の清掃を行い、地域コミュニティの活性化に寄与したいと考えます。

農試公園屋内広場（アリーナ・サンルーム）清掃

作業項目	回数	備考
日常清掃A	359回/年	玄関ホール：除塵、水拭き、ごみ収集
日常清掃C	359回/年	便所：除塵、水拭き、消耗品補充
日常清掃D	20回/年	事務室：除塵、水拭き、ごみ収集
日常点検	359回/年	施設内・トイレ・外観
定期清掃A	4回/年	廊下、階段、更衣室、便所、床ワックス
定期清掃B	2回/年	事務室、会議室、休憩室、床ワックス
定期清掃C	3回/年	サンルーム床ワックス
定期清掃C	6回/年	便所：床表面洗浄
窓ガラス拭き（足場不要）	1回/年	全館（建具、ガラリ含む）
窓ガラス拭き（足場不要）	1回/年	アリーナ天窗
残留塩素測定	48回/年	塩素濃度・濁り・色味
受水槽清掃・水質検査	1回/年	一般細菌群数等

4月から11月までの毎日、ごみ拾い等の園内清掃を行います。また、利用者の集中するお花見の季節、土・日・祝日やイベント開催時は巡視と清掃を強化し、利用者の快適性を確保します。さらに、落葉時期に合わせてシーズン中に3回、園路等の落葉清掃を行い、安全管理に努めます。

園内清掃

作業項目	回数	備考
日常清掃	359回/年	ごみ拾い、掃き清掃
園内清掃 A	1回/年	春：1回ごみ拾い、落ち葉等掃き清掃
園内清掃 B	15回/年	秋：落ち葉清掃

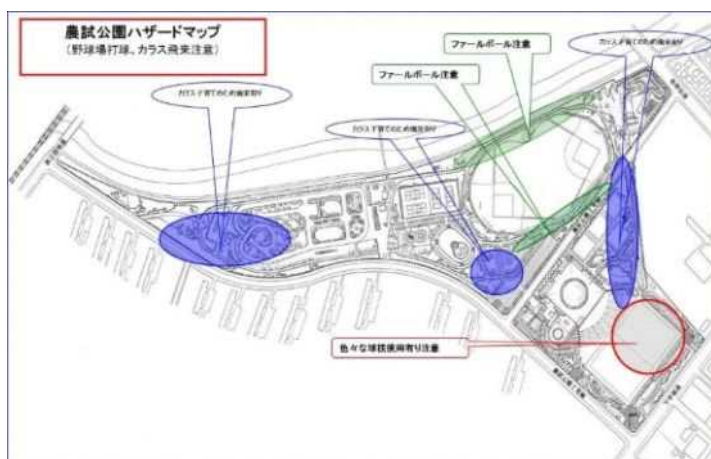
巡視・安全管理

【基本的な考え】

① ハザードマップ等を活用した安全管理

巡視は原則として1日1回実施します。土・日・祝日やイベント開催時等、多くの利用者が見込まれる日は複数回実施し、安全の確保に努めます。

なお、巡視の際は公園ハザードマップを活用し、季節や気象条件に応じて重点的に巡視・監視する箇所を判断し、効果的かつ効率的に行います。



カラス対策

カラスやスズメバチ等により利用者等に危害が及びおそれがある場合は、あらかじめ注意看板や迂回路の案内を設置するなど、適切に対応します。また、園内掲示板、ホームページ、園内放送等で利用者に周知するとともに、場合によっては立入禁止区域を設定するなどして安全を確保します。

なお、一般的にカラスが最も攻撃的になるのはヒナを育てる一時期であることから、過剰な対応はせず、札幌市のカラスマニュアルに則って対処します。

〔具体的管理内容〕

- 営巣箇所周辺に注意看板を設置するとともに、定期的な園内放送で公園利用者へ注意を呼びかけ、迂回路等を設定するなど、安全に配慮します。
- 巣から落ちた子ガラスは、専門業者に委託して回収します。
- 巣の位置が人通りに近く、親ガラスが公園利用者に対して危険な行動をとる可能性が高い場合は、巣の撤去についても検討します。

スズメバチ対策

スズメバチの活動が活発になる夏から秋にかけて、園路沿いなどの人との距離が近い場所に巣を発見した場合は、利用者の安全確保のため駆除します。

〔具体的管理内容〕

- a スズメバチは、雨を避けられる温かい場所に営巣する習性があるため、施設の軒下、床下や天井の通風口、生け垣、植木鉢や容器の中等を慎重に確認します。巣を発見した場合は、蜂専用防護服、防護手袋、長靴を着用したスタッフにより、スズメバチ専用殺虫剤、捕獲用袋を使用して駆除します。また、巣が大きいなど、スタッフによる駆除が困難な場合は、専門事業者に委託します。
- b 作業の際は、周囲を立入禁止区域とし、公園利用者の安全確保を徹底します。
- c 営巣を防ぐために、以下の対策を講じます。
 - ・ 通風口等の穴は、金網等で目張りをします。
 - ・ 生け垣等の植栽は、こまめな整枝剪定で風通しを良くします。
 - ・ 排水桝のコンクリート蓋裏など定期的な巣の確認を行います。
 - ・ 営巣しやすい容器等は、屋外に放置しません。

② 巡視時などのコミュニケーション

日頃からおもてなしの心を込めて利用者に積極的な「声かけ」や「挨拶」を行い、積極的にコミュニケーションを取ります。こうしたことにより、公園への意見や安全に対する要望等を聴き取り、管理運営に反映させます。

③ マルチワークによる効率化

巡視の際には、公園内のごみ拾いを兼ねるとともに、施設等の不具合や緊急事態等に備えて、簡易な修理工具や救急用品等を携帯します。

また、常に利用者の安全を心がけ、複数の職務を同時に行う体制を整えて作業効率の向上と経費の節減を図ります。

〔年間巡視作業の工程〕

農試公園

業務名	業務内容	年間施工月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園内巡視	スタッフによる巡視	巡視											
駐車場巡視	スタッフによる巡視、夜間閉鎖	巡視・夜間閉鎖											

- ・ 年末年始の3日間を除く毎日
- ・ 7月、8月は夜間の巡視を追加

発着西陵公園

業務名	業務内容	年間施工月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園内巡視	スタッフによる巡視	巡視											
駐車場巡視	スタッフによる巡視	巡視・夜間警備						冬期間警備					

- ・4月～11月下旬は2日おき。ただし、7月、8月は毎日。
- ・12月から3月までは週1回

④ 警備業務

近年、公園内でも自動販売機荒らしなどの犯罪が増加しています。そこで、両公園においても専門業者による警備を行うなど、事故・盗難・破壊行為等を未然に防止し、市民の財産である公園の保全と利用者の安全を確保します。

【具体的管理内容】

- 当協会内部で共有している事故履歴や不法行為等に関する情報を活用して、危険箇所の改善、注意看板等を設置する等の事前対策を講じます。
- 同様の事件・事故が発生しないように、地域と情報を共有するなど、連携して対策を講じ、利用者や地域住民が安心して利用できるよう取り組みます。
- 警備業務を委託する際は、警備業法、消防法及び労働安全衛生法等の関係法令を遵守させるとともに、利用者に不快感や威圧感を与えないよう指導します。

⑤ 鍵の管理

- 鍵については、マネージャーが鍵貸与簿で管理し、毎日の点検で破損、紛失等がないか確認します。
- 点検作業、物品納品等での業者への鍵の貸与は、鍵貸与簿に記載してしっかりと受け渡しを行います。警備会社、自販機メーカーへの鍵の貸与は、鍵貸与証明書等を交付するなど、使用責任を明確にします。

⑥ 施設施設

屋内広場、自転車・トンカチ貸出所、テニスコート、野球場で出入口の施設を行います。

- 屋内広場は8時30分に開錠し、21時に施錠します。最終確認者は、屋内広場内すべての扉、窓、シャッター、自動ドア、各種ロッカー等を点検し、館内に利用者が残っていないかを確認してから施錠します。
- 屋内広場には運動施設と休憩施設があり、利用者の出入りが多いため、定期的な巡視により不審者や不審物の発見と事件・事故の未然防止に努め、施設の秩序を維持します。
- 自転車・トンカチ貸出所は9時に開錠し、17時に施錠します。最終確認者は、貸出所内のすべての扉、窓、シャッター、トンカチ種の機具類の電源と火気を確認し、利用者が残っていないか確認してから施錠します。
- テニスコートと野球場の施設は、季節による利用時間に合わせて施設管理します。

⑦ 機械整備

- 警備機器を設置し、不法侵入者や火災の発生を24時間体制で監視します。
- 万一、不法侵入や火災等が発生した場合は、警備会社に自動通報されます。通報を受けた警備員は公園に急行し、状況を確認して初期措置を取り、マネージャー又はサブマネージャーへ連絡します。また、緊急の場合は、管轄の西警察署や西消防署に通報します。

【年間整備計画】

業 務 名	業 務 内 容	年 間 施 工 月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	機械整備	実 施											
	機械整備	実 施											

❶ 冬期の管理

【基本的な考え】

① 施設の保全と安全・安心の確保

施設及び工作物等の冬期の管理にあたっては、利用者の安全を確保し、降雪・積雪及び除雪作業により工作物を破損させないように、積雪前に施設・工作物の一時撤去や養生を行うとともに、その位置や作業手順の確認を行います。

【具体的管理内容】

- 除雪作業の目安とするため、園内の要所にスノーボールを設置するほか、一部遊具の撤去・シート掛け、水飲み台養生、ロープ柵設置等を行います。
- 屋内広場内の暖房・空調設備を事前に点検し、設定等は外気温の変化とともに随時変更して効率よく管理し、燃料も節約します。
- 樹木等の雪囲いは、植物の生育を妨げることがないように、樹種や特性を見極めて行います。
- 作業車両は、冬タイヤ・冬ワイパー等に交換し、安全を確保します。
- 発寒西陵公園の有料施設（テニスコート）・駐車場・トイレは、11月から翌年4月まで閉鎖します。



② 除雪業務と動線確保・工作物保全

〔具体的管理内容〕

- a **除雪業務**：15cm 以上の降雪があった場合は、公園利用者の少ない早朝を中心に除雪を行います。日中に降雪があり、車両通行に支障が出るような場合は、適時除雪を行います。
- b **施設の除雪**：屋内広場の開館前に、周囲の除雪、非常口の除雪を済ませます。屋内広場入口の除雪を行う際は監視員を配置し、利用者の安全を確保します。また、四阿やパーゴラ、屋根付き施設からの落雪・落水、利用者やスタッフに危険が及ぶおそれのある箇所を日々点検します。また、定期的に雪下ろしや氷落としを行うことにより、施設の損壊等を防ぎます。
- c **緊急対応**：暴風雪や大雪等の際には、天候や利用状況に合わせて迅速・適切に除雪を行い、駐車場や園路の動線を確保します。
- d **屋内広場対応**：屋内広場の団体利用等がある場合は、利用者と調整して事前に除雪を行うなど、利便性と快適性を高めます。
- e **安全対策**：作業時は、周囲にカラーコーンや表示看板等を配置して利用者に作業を周知し、事故を防ぎます。また、適宜、園路に融雪剤の散布や砂撒きを行い、利用者の安全と快適な利用を確保します。



作業項目	回数	備考
駐車場除雪工（新雪）	15回/年	15cm以上の降雪
駐車場除雪工（路面整正）	3回/年	路面不陸発生時
園路除雪工（新雪）	15回/年	15cm以上の降雪
雪下ろし	適宜	四阿 ダックアウトシェルター
緊急対応	随時	大雪、暴風雪時

③ 園内管理

公園の冬季利用促進のため、イベントを数多く企画・実施します。当協会のこれまでの管理経験と実績を活かして、雪を利用した園内活用やイベント等を市民や地域団体と協働・連携して行い、公園の魅力アップと利用者サービスの向上を図ります。

〔具体的管理内容〕

- a ツインキャップ横のスロープや園路横の小さな丘は、スキーやそりすべり山として整備、多目的広場は雪上サッカー・雪合戦・雪中運動会等のスポーツ広場として整備し活用します。
- b 公園全域を周回する歩くスキーコースは、毎日のコース整備とコースカッターを入れることで利用者の利便を図ります。



- c 雪合戦大会会場として利用される多目的広場は、圧雪・整地作業等を行い、安全かつ快適な利用をサポートします。
- d スノーモービルにより、園内歩行者専用の園路を造成し、冬季でもウォーキングを楽しめるよう整備します。

〔冬期作業計画〕

－ 撤去・閉鎖作業等 －

農試公園

業務名	作業内容	年間施行月												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
施設管理（屋外）	遊具撤去・閉鎖	設置・開放									撤去・閉鎖			閉鎖
	便宜施設閉鎖	開放									閉鎖			閉鎖
	除雪ポール設置	撤去									設置			
施設管理（屋内）	暖房ボイラー点検等							点検					稼働	
	空調機点検等	点検			点検				点検			点検		
車両・機械管理	タイヤ交換他	交換									交換			

発寒西陵公園

業務名	作業内容	年間施行月												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
施設管理（屋外）	遊具撤去・閉鎖	設置・開放									撤去・閉鎖			閉鎖
駐車場	冬期間閉鎖	開放									閉鎖			閉鎖

— 冬期施設整備作業 —

農試公園

業務名	作業内容	冬期間施行月					
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
圧雪広場管理	降雪後圧雪	(圧雪)		圧雪			
	広場内不陸整正				整正		
スキースロープ管理	コースフェンス設置・撤去	(設置)	設置				撤去
	降雪後圧雪	(圧雪)		圧雪			
	斜面不陸整正				整正		
そりスロープ管理	コースフェンス設置・撤去	(設置)	設置				撤去
	降雪後圧雪	(圧雪)		圧雪			
	斜面不陸整正				整正		
歩くスキーコース管理	コース看板設置・撤去	(設置)	設置				撤去
	降雪後圧雪	(圧雪)		圧雪			
	コースカッター投入				カッター投入		
	コース内不陸整正				整正		
スノーラフティング	実施		実施				
スノーキャンドル	製作			製作			

農試公園・発寒西陵公園冬期施設破損防止対策

作業項目	回数	備考
工作物移設、ポールの設置・撤去	2回/年	4月、11月
水飲み台・句碑等の冬囲い	2回/年	4月、11月
スノーマットの点検	12回/年	月2回実施
スノーマットの設置・撤去	2回/年	4月、11月
危険区域の進入防止対策	1回/年	積雪状況による、市協議事項